

## 令和5年度事業評価書（令和4年度事業）

| 評価事項    | 評価項目                  | 評 価                               | 評 価 内 容   |
|---------|-----------------------|-----------------------------------|---|
| 教養文化の向上 | 量的な視点からサービスは適切に行われたか。 | 適切に行われた<br>ほぼ適切に行われた<br>適切とは言えない。 | コロナ禍の影響も減り、年間開催回数が大幅に増加し、コロナ前の水準に戻りつつある。新規事業も18と増えている。                            |
|         | 質的な視点からサービスは適切に行われたか。 | 適切に行われた<br>ほぼ適切に行われた<br>適切とは言えない。 | 泉大津市80周年記念事業やリージョナルシアター事業を実施し、アーティストによる公演とワークショップを実施する等、質の高いイベントを開催している。          |
|         | 地域的な広がり、維持が適切に行われたか。  | 適切に行われた<br>ほぼ適切に行われた<br>適切とは言えない。 | リージョナルシアター事業では、地域の小中学校でワークショップを開催、次世代支援事業では父親が参加する事業を実施する等、幅広い年代を対象としたイベントが開催された。 |
|         | ステップアップ促進が適切に行われたか    | 適切に行われた<br>ほぼ適切に行われた<br>適切とは言えない。 | 泉大津80周年記念事業への参加は、ストーリー性をもった事業展開ができ、他施設との関わりという点で新たな地域との関係性が築けた。                   |
| 情報発信    | 量的な視点から適切に情報発信が行われたか。 | 適切に行われた<br>ほぼ適切に行われた<br>適切とは言えない。 | 「あすと通信」「あすと子ども通信」やSNS等を活用して積極的な情報発信が行われている。                                       |
|         | 質的な視点から適切に情報発信が行われたか。 | 適切に行われた<br>ほぼ適切に行われた<br>適切とは言えない。 | 公式LINEの活用に加え、チラシのデザインはターゲットや催事イメージを意識し、効果的な情報発信を行っている。                            |
|         | 情報発信の方法は、適切であったか。     | 適切に行われた<br>ほぼ適切に行われた<br>適切とは言えない。 | ホームページだけでなく公式LINEのチャット機能を活用し、ニーズにあった情報提供や各事業の申し込み受付に活用している。                       |
| 地域支援    | 量的な視点から適切に地域支援が行われたか。 | 適切に行われた<br>ほぼ適切に行われた<br>適切とは言えない。 | 地域団体やアーティストに活動の機会を提供している。   |
|         | 質的な視点から適切に地域支援        | 適切に行われた<br>ほぼ適切に行われた              | 新たな支援の認定もあり、支援の幅を広げることができている。   |

|                 |   |                                   |   |
|-----------------|---|-----------------------------------|---|
|                 | が行われたか。   | 適切とは言えない。                         |   |
| 地域支援            | 地域支援の方法は、適切であったか。                                 | 適切に行われた<br>ほぼ適切に行われた<br>適切とは言えない。 | 支援団体の活動に、広報面、運営面等様々な側面から支援を行っている。   |
| 市民ニーズへの対応       | 市民ニーズの把握と満足度向上への取り組みは適切に行われたか。                    | 適切に行われた<br>ほぼ適切に行われた<br>適切とは言えない。 | 利用者のアンケートや事業者とのミーティングに加えて、公式LINEのチャット機能で申し込みや問い合わせに対応する等、新たなコミュニケーションツールを活用できている。 |
| 事業計画とコンセプトとの整合性 | 策定された事業計画は、文化の自分化創造館を実現する・具体化する取り組みとして適切であったか。    | 適切<br>ほぼ適切<br>適切ではない              | 地域文化芸術の活動拠点、発信拠点、次世代人材育成事業に取り組み、地域で育った若手アーティストによる企画など地域人材発掘を継続する等、文化創造の点でも適切である。  |
|                 | 策定された事業計画の実施によって具体的な成果（アウトカム）が上がっているか。            | 上がっている<br>どちらとも言えない。<br>上がっていない。  | 地域のダンスイベントの活動拠点としての機能、地域のアーティスト支援等を通じて、アーティストバンクの設立等の成果につながっている。                  |
|                 | PFI 事業者の実施体制は、文化の自分化創造館を実現する・具体化する取り組みとして適切であったか。 | 適切<br>ほぼ適切<br>適切ではない              | 市民参加の芸術イベントの開催、アーチャーの拡大、地域アーティストの支援等、JTB グループや事業者と一体となって事業コンセプトの実現に寄与している。        |

### 事業についての講評

コロナ禍の影響も収まり、事業や講座が以前の水準に戻りつつあること、特にダンス・舞踏というテーマをもとに一貫性のある事業を展開できた点が泉大津市の文化的芸術的な価値創造の起点としてホールが活用されていることが非常に評価すべきポイントである。また、市民が参加できるワークショップや、大学生が運営に関わる事業等、市民参加型の文化・芸術事業がいくつも実施されている点も評価できる。子育て世帯や小学生へのアウトリーチも意識されており、地域文化や芸術の発信源としてのホールの機能を十分発揮できていると考えられる。

子育て世帯の父親が参加するイベント等で努力されているが、男性利用者比率が増加するような工夫も今後は求められる。

### PFI 事業者への提言、提案など

男女問わず、幅広い世代にも広報情報やアウトリーチが届くようなアイデアに関して、今後も検討の余地があると考えられる。